

事務事業評価一覧(課別)

令和7年度

保健福祉部地域福祉課

(単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	1,663,880	コスト	成果	
1759 市立医師会医療センター運営事業	1,428,574	→	↑	312-01
1948 健康福祉まつり開催事業	1,733	↓	→	333-01
2213 社会福祉協議会運営支援事業	53,834	→	→	333-02
2216 民生委員活動支援事業	39,982	→	→	333-03
2218 保護司会支援事業	1,293	↓	→	333-04
2223 遺族会連合会支援事業	513	→	→	524-01
2224 戦没者追悼式開催事業	195	→	→	524-02
2269 横川健康温泉センター管理運営事業	32,676	→	→	331-01
2270 溝辺ふれあい温泉センター管理運営事業	33,982	→	→	331-02
2271 霧島温泉健康増進交流センター管理運営事業	34,436	→	→	331-03
2272 国分総合福祉センター管理運営事業	25,307	→	→	331-04
2273 隼人総合福祉センター管理運営事業	11,305	→	→	331-05
2286 法外援護災害救助事業	50	→	→	241-01

1. 基本情報							
事務事業名 1759 - 市立医師会医療センター運営事業							
政策名 3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり			所属		保健福祉政策課		
施策名 1. 健康づくりの推進と医療体制の充実							
基本事業名 2. 質の高い医療体制の確保			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①始良地区医師会等の関係機関と連携し、夜間・休日における二次救急医療体制の充実を図るとともに、深夜帯における一次救急医療体制の整備について検討を行います。 ②様々な医療ニーズに対応するため、市立医師会医療センターの施設整備や機能充実に取り組みます。			算 科 目	款	13	諸支出金
					項	01	公営企業費
					目	01	病院事業費
				事業期間		平成12年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市病院事業の設置及び管理に関する条例
	①②市民		①救急医療を受けられる ②高度な医療や様々な診療科目を受けられる		関連計画		霧島市立医師会医療センター施設整備基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
霧島市立医師会医療センターを安定的に運営するため、市の一般会計で負担すべき額を市病院事業会計に繰り出す事務事業。 (病院名称) 霧島市立医師会医療センター (開設者) 霧島市長 (経営形態) 地方公営企業法一部適用指定管理者制度 (指定管理者) 公益社団法人始良地区医師会							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 医師会医療センターの経営	経常収支比率	%	91	91	90	91
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 安定した経営が行われる	医業収支比率	%	79	91	81	87
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果 新病院開院1年目の年であり、前年度と比較すると入院患者・外来患者ともに増加し、医業収益は増加した。しかしながら、診療材料費などの物価高騰や人件費の増加に伴い医業費用も増加し、医業収支は81.1%となった。また、一般会計からの負担金等を含めた経常収支比率も89.6%となり、非常に厳しい経営状況となっている。 今年度からは経営コンサルタントを導入し、経営分析、改善施策の策定を行った後、診療報酬の最適化、医療材料費等の調達見直し、病床運用の効率化など、より実務に踏み込んだ経営改善施策に取り組んでいる。また、令和5年3月に策定した「霧島市立医師会医療センター経営強化プラン」について収支計画が現状と乖離していたことから一部改訂を行った。
事業費(千円)		2,495,452	1,428,574	1,020,784	
財源内訳	国庫支出金	9,700	129,416	76,600	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	300	0	
	一般財源	2,485,752	1,298,858	944,184	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	経営改善施策の1つである病棟再編や2026年度診療報酬改定に伴い、医療センターは更に急性期に特化した病院を目指していくこととなった。そのため、地域の医療機関とも役割分担や連携を強化し、様々な医療ニーズに対応でき、地域で完結する医療の実現を図っていく。 また、今後は新病院建設費用にかかる多額の地方債の償還が始まり、より一層厳しい経営状況となることから、始良地区医師会や経営コンサルタントと連携し、引続き経営改善に取り組んでいく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 1948 ― 健康福祉まつり開催事業							
政策名 3. やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)				所属 保健福祉政策課			
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名 3. 住民参加と互いに支え合う地域福祉の推進				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①自治会や民生委員・児童委員、地域見守り支援員等の地域のボランティア、民間事業者等の様々な活動主体とのネットワークを強化し、地域住民による支え合いを促進します。 ②認知症を正しく理解するため、認知症サポーター養成研修を行うとともに、認知症の人をみんなで見守る「みまもりあいアプリ」の活用を促進します。			算	款	03	民生費
				科	項	01	社会福祉費
				目	目	01	社会福祉総務費
				事業期間 平成19年度～			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市健康福祉まつり実行委員会規約
	①②地域住民		①②支え合い活動に自発的に取り組める		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
市民の健康づくり及び福祉の推進のため、市民総ぐるみの啓発活動を実施することを目的に、医療及び福祉関係等の団体で構成する「霧島市健康福祉まつり実行委員会」との共催により健康福祉まつりを開催する。 【主な内容】功労者等表彰、講演会、医療・福祉に関する普及啓発活動							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	健康づくりや福祉に興味関心を持ってもらう	来場者数(延人数)	人	5,632	4,400	3,652	4,400
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果 【開催日】令和8年2月1日(日) 令和7年度は、国分ハウジングホール改修工事のため、国分シビックセンターの1会場での開催となったが、表彰式典及び講演会には435人、ブースには延べ3,652人が来場し、健康づくりについて再認識していただく機会となった。また、福祉の向上のため、福祉団体との連携による市民総ぐるみの啓発活動を行うことができた。
事業費(千円)		1,742	1,733	1,733	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	1,742	1,733	1,733	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	出展団体からの賛助金の取り扱いの見直しを検討し、実行委員会の歳入確保に取組む。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

1. 基本情報									
事務事業名		2213 ー 社会福祉協議会運営支援事業							
政策名		3. やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)				所属		保健福祉政策課	
施策名		3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名		3. 住民参加と互いに支え合う地域福祉の推進				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①自治会や民生委員・児童委員、地域見守り支援員等の地域のボランティア、民間事業者等の様々な活動主体とのネットワークを強化し、地域住民による支え合いを促進します。 ②認知症を正しく理解するため、認知症サポーター養成研修を行うとともに、認知症の人をみんなで見守る「みまもりあいアプリ」の活用を促進します。				算	款	03	民生費	
					科	項	01	社会福祉費	
					目	目	01	社会福祉総務費	
					事業期間				平成17年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし		
	①②地域住民		①②支え合い活動に自発的に取り組める		関連計画		特になし		
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発展及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の増進を図るため、社会福祉協議会の運営費に対し補助金を交付する。 【主な活動】ボランティア活動、相談事業等の各種事業									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	社会福祉協議会	社会福祉協議会予算額(一般会計経常活動分)		千円	741,918	700,000	751,804	750,000	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	社会福祉協議会の組織体制、活動の強化を図られる。	霧島市社会福祉協議会会員数		人	28,806	28,806	27,457	27,457	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		51,834	53,834	58,340	霧島市における社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発展及び社会福祉に関する活動(ボランティア活動、相談事業等の各種事業)の活性化、地域福祉の増進が図られた。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源		51,834	53,834	58,340					
5. 振返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1) 今後の事務事業の方向性				(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持		事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。					
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報							
事務事業名 2216 ー 民生委員活動支援事業							
政策名 3. やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)				所属 保健福祉政策課			
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名 3. 住民参加と互いに支え合う地域福祉の推進				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①自治会や民生委員・児童委員、地域見守り支援員等の地域のボランティア、民間事業者等の様々な活動主体とのネットワークを強化し、地域住民による支え合いを促進します。 ②認知症を正しく理解するため、認知症サポーター養成研修を行うとともに、認知症の人をみんなで見守る「みまもりあいアプリ」の活用を促進します。			算	款	03	民生費
				科	項	01	社会福祉費
				目	目	01	社会福祉総務費
				事業期間 平成17年度～			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①②地域住民		①②支え合い活動に自発的に取り組める		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
民生委員・児童委員の活動を支援するため、民生委員・児童委員協議会連合会の運営に対し補助金を交付する。 【民生委員の主な活動】 地域住民の身近な相談への対応、様々な福祉施策やサービス内容の把握・周知、必要な福祉サービスの利用に向けた援助、担当区域内の実態把握等							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	民生委員・児童委員	民生委員・児童委員定数	人	286	279	279	279
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	継続的・安定的な活動ができる	活動日数	日	42,730	42,730	45,091	45,091
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		39,589	39,982	38,879	民生委員・児童委員一人当たり108,800円の活動費(年額)のほか、各地区の民生委員児童委員協議会及び霧島市民生委員児童委員協議会連合会の運営のための補助金として39,275,365円を交付した。民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりが図られるとともに、毎月の定例会や各種研修を通じて、地域と専門機関を結ぶつなぎ役としての資質の向上や活動の活性化が図られた。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	39,589	39,982	38,879	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名 2218 ー 保護司会支援事業							
政策名 3. やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)				所属 保健福祉政策課			
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名 3. 住民参加と互いに支え合う地域福祉の推進				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①自治会や民生委員・児童委員、地域見守り支援員等の地域のボランティア、民間事業者等の様々な活動主体とのネットワークを強化し、地域住民による支え合いを促進します。 ②認知症を正しく理解するため、認知症サポーター養成研修を行うとともに、認知症の人をみんなで見守る「みまもりあいアプリ」の活用を促進します。			算	款	03	民生費
				科	項	01	社会福祉費
				目	目	01	社会福祉総務費
				事業期間 昭和40年度～			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金等交付規則
	①②地域住民		①②支え合い活動に自発的に取り組める		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
保護司の活動を支援するため、始良保護区保護司会霧島支部の運営に対し補助金を交付する。 【保護司の職務】保護観察を受けている人との面接による指導・助言、刑務所や少年院に入っている人の帰住先の生活環境の調整、犯罪予防のための啓発活動等							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	保護司会	会員数	人	47	50	42	50
イ	保護観察者(始良保護区)	保護観察者数	人	27	25	22	25
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	円滑な運営ができる	会員数	人	47	50	42	50
イ	更生を支援してもらえる	保護観察者数	人	27	30	22	25
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		1,300	1,293	1,293	犯罪を犯した人の改善及び更生を助けるとともに、犯罪予防のため7月を強化月間とする「社会を明るくする運動」等の啓発活動を行った。 協力雇用主会が犯罪を犯した人が仕事に就き、善良な社会の一員として改善更生することを目的に支援を行った。 青少年の健全育成と更生支援をより充実し、安心安全な地域づくりに貢献するために始良保護区保護司会が「あいら青少年問題相談室」を開設し、青少年や保護者等の相談を受けた。 広報誌や霧島市ホームページでの広報について協力を行った。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	1,300	1,293	1,293	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	保護司の活動は、要保護観察者の再犯防止と、安心・安全なまちづくりに大きく寄与しているため、引き続き保護司会に対する補助を行っていく。また、現在の保護司数は、定員を満たしていないことから、保護司増に向けた取組を市が支援していくことで保護司の確保を図る。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

1. 基本情報								
事務事業名 2223 ー 遺族会連合会支援事業								
政策名 5. きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)				所属		保健福祉政策課		
施策名 2. 人権尊重・男女共同参画の推進と多文化共生								
基本事業名 4. 平和意識の醸成				予 算 科 目	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①国分基地(国分・溝辺)特攻慰霊祭、市戦没者追悼式等を通じて、次の世代へ途切れることなく、市民が平和の大切さや命の尊さへの理解を深めるための取組を推進します。				款	03	民生費	
					項	01	社会福祉費	
					目	01	社会福祉総務費	
					事業期間			昭和23年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金等交付規則	
	①市民		①平和の大切さや命の尊さへの理解を深め てもらう		関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
戦没者の遺族の連帯と平和活動を推進している市遺族会連合会の運営を補助する。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	霧島市遺族会連合会	霧島市遺族会連合会の会員数	人	141	141	132	132
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	慰霊祭・追悼式等の活動が継続できる	各慰霊祭、追悼式に参加した人数	人	160	160	170	170
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		588	513	580	遺族会連合会の運営及び会員の活動を支援するため、運営補助金102千円を交付し、市戦没者慰霊祭、県戦没者慰霊祭に参加した。戦没者遺族が高齢化し年々減少していく中、遺族の活動を補助することにより、会員の福祉の向上及び平和活動の推進が図られた。		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	588	513	580			

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 2224 ー 戦没者追悼式開催事業							
政策名 5. きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)		所属 保健福祉政策課					
施策名 2. 人権尊重・男女共同参画の推進と多文化共生							
基本事業名 4. 平和意識の醸成		予	会計	01	一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)	①国分基地(国分・溝辺)特攻慰霊祭、市戦没者追悼式等を通じて、次の世代へ途切れることなく、市民が平和の大切さや命の尊さへの理解を深めるための取組を推進します。	算 科 目	款 項 目	03	民生費		
				01	社会福祉費		
				01	社会福祉総務費		
				事業期間		平成17年～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①市民		①平和の大切さや命の尊さへの理解を深め てもらう		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
戦死者及び戦災死者に追悼の誠を捧げるとともに、平和を祈念するため、戦没者追悼式を開催する。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	戦没者に追悼の誠を捧げるとともに、平和を祈念する	戦没者追悼式参加者数	人	152	120	170	170
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		156	195	192	【開催日】令和7年10月31日(金) 先の大戦において亡くなられた戦死者及び戦災死者を追悼するとともに平和を祈念するため、戦没者追悼式を開催した。令和7年度は、次世代への継承の観点から、市内の小中学生に加え、高校生にも参加いただき、献花やメッセージ朗読を行った。		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	156	195	192			

5. 振り返り<SEE (check)>				
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか		結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か		実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか		影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか		向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか		削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか		削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか		公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名 2269 ー 横川健康温泉センター管理運営事業							
政策名 3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属 保健福祉政策課			
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名 1. 介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①住民主体の通いの場である「地域のひろば」を拡大・充実させることで、互いに支え合う介護予防や生きがいづくりを推進します。 ②理学療法士・作業療法士などの専門職や、社会福祉協議会などの関係機関との連携を強化することで、介護予防や自立支援の体制を充実します。			算	款	03	民生費
				科	項	01	社会福祉費
				目	目	04	社会福祉施設費
				事業期間			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし	
	①高齢者・地域住民 ②介護を必要とする人		①介護予防活動に参加してもらう ②必要な支援が受けられる		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
横川健康温泉センターの適切な管理運営を行う。 【設置目的】市民の健康増進と福祉の向上を図る。 【指定管理者】霧島市社会福祉協議会(指定期間: 令和6年4月～令和11年3月)							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	健康増進と福祉の向上を図る	施設利用者数	人	39,513	24,000	45,576	40,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		33,513	32,676	32,422	指定管理者と連携し、安心安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組み、地域の憩いの場として孤立・孤独の防止、防災・防犯力の向上にも繋がった。また、温泉及び施設の利用により、市民の健康増進と福祉の向上が図られた。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	11,332	13,334	11,842	
	一般財源	22,181	19,342	20,580	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名 2270 ー 溝辺ふれあい温泉センター管理運営事業							
政策名 3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属 保健福祉政策課			
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名 1. 介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①住民主体の通いの場である「地域のひろば」を拡大・充実させることで、互いに支え合う介護予防や生きがいづくりを推進します。 ②理学療法士・作業療法士などの専門職や、社会福祉協議会などの関係機関との連携を強化することで、介護予防や自立支援の体制を充実します。			算 科 目	款	03	民生費
					項	01	社会福祉費
					目	04	社会福祉施設費
				事業期間			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市温泉センターの設置及び管理に関する条例
	①高齢者・地域住民 ②介護を必要とする人		①介護予防活動に参加してもらう ②必要な支援が受けられる		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
溝辺ふれあい温泉センターの適切な管理運営を行う。 【設置目的】市民の健康増進と福祉の向上を図る。 【指定管理者】霧島市社会福祉協議会(指定期間: 令和6年4月～令和11年3月)							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	健康増進と福祉の向上を図る	施設利用者数	人	51,003	59,000	59,806	59,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		30,137	33,982	32,870	指定管理者と連携し、安心安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組み、地域の憩いの場として孤立・孤独の防止、防災・防犯力の向上にも繋がった。また、温泉及び施設の利用により、市民の健康増進と福祉の向上が図られた。		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	14,916	18,203	13,603			
	一般財源	15,221	15,779	19,267			

5. 振り返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名 2271 霧島温泉健康増進交流センター管理運営事業							
政策名 3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属 保健福祉政策課			
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名 1. 介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①住民主体の通いの場である「地域のひろば」を拡大・充実させることで、互いに支え合う介護予防や生きがいづくりを推進します。 ②理学療法士・作業療法士などの専門職や、社会福祉協議会などの関係機関との連携を強化することで、介護予防や自立支援の体制を充実します。			算 科 目	款	03	民生費
					項	01	社会福祉費
					目	04	社会福祉施設費
				事業期間			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市温泉センターの設置及び管理に関する条例
	①高齢者・地域住民 ②介護を必要とする人		①介護予防活動に参加してもらう ②必要な支援が受けられる		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

霧島温泉健康増進交流センターの適切な管理運営を行う。

【設置目的】市民の健康増進と福祉の向上を図る。

【指定管理者】霧島市社会福祉協議会(指定期間: 令和6年4月～令和11年3月)

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 市民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 健康増進と福祉の向上を図る	施設利用者数	人	32,630	43,000	34,500	43,000
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果 指定管理者と連携し、安心安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組み、地域の憩いの場として孤立・孤独の防止、防災・防犯力の向上にも繋がった。また、温泉及び施設の利用により、市民の健康増進と福祉の向上が図られた。
事業費(千円)		32,211	34,436	36,194	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	11,047	11,982	9,297	
一般財源		21,164	22,454	26,897	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 2272 国分総合福祉センター管理運営事業							
政策名 3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属 保健福祉政策課			
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名 1. 介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①住民主体の通いの場である「地域のひろば」を拡大・充実させることで、互いに支え合う介護予防や生きがいづくりを推進します。 ②理学療法士・作業療法士などの専門職や、社会福祉協議会などの関係機関との連携を強化することで、介護予防や自立支援の体制を充実します。			算 科 目	款	03	民生費
					項	01	社会福祉費
					目	04	社会福祉施設費
				事業期間			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例
	①高齢者・地域住民 ②介護を必要とする人		①介護予防活動に参加してもらう ②必要な支援が受けられる		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

国分総合福祉センターの適切な管理運営を行う。
【設置目的】高齢者及び身体障害者等に対して健康の増進、教養の向上及び福祉の増進を目的とした交流、レクリエーション、研修及び集会等の利便に供する。
【指定管理者】霧島市社会福祉協議会(指定期間: 令和6年4月～令和11年3月)

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 高齢者	高齢者数	人	35,217	37,163	36,008	37,492
イ 身体障害者	市内の身体障害者手帳所持者数	人	5,274	5,274	5,163	5,163
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 健康の増進、教養の向上及び福祉の増進を図る	施設利用者数	人	26,988	25,000	29,664	25,000
イ 健康の増進、教養の向上及び福祉の増進を図る	施設利用者数	人	323	323	436	436
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果 指定管理者と連携し、安心安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組み、地域の憩いの場として孤立・孤独の防止、防災・防犯力の向上にも繋がった。また、地域の交流の場として、さまざまな世代が施設を利用することにより、高齢者等の健康増進と教養及び福祉の向上が図られた。
事業費(千円)		23,990	25,307	24,523	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	440	335	374	
	一般財源	23,550	24,972	24,149	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 2273 ー 隼人総合福祉センター管理運営事業							
政策名 3. やさしく誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属 保健福祉政策課			
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名 1. 介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①住民主体の通いの場である「地域のひろば」を拡大・充実させることで、互いに支え合う介護予防や生きがいづくりを推進します。 ②理学療法士・作業療法士などの専門職や、社会福祉協議会などの関係機関との連携を強化することで、介護予防や自立支援の体制を充実します。			算 科 目	款	03	民生費
					項	01	社会福祉費
					目	04	社会福祉施設費
				事業期間			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例
	①高齢者・地域住民 ②介護を必要とする人		①介護予防活動に参加してもらう ②必要な支援が受けられる		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

隼人総合福祉センターの適切な管理運営を行う。

【設置目的】高齢者及び身体障害者等に対して健康の増進、教養の向上及び福祉の増進を目的とした交流、レクリエーション、研修及び集会等の利便に供する。

【指定管理者】霧島市社会福祉協議会(指定期間: 令和6年4月～令和11年3月)

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 高齢者	市内の高齢者	人	35,217	37,163	36,008	37,492
イ 身体障害者	市内の身体障害者手帳所持者	人	5,284	5,284	5,163	5,163
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 健康の増進、教養の向上及び福祉の増進を図る	施設利用者数	人	2,192	2,200	2,539	2,539
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果 指定管理者と連携し、安心安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組み、地域の憩いの場として孤立・孤独の防止、防災・防犯力の向上にも繋がった。
事業費(千円)		10,636	11,305	12,061	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	565	0	0	
	一般財源	10,071	11,305	12,061	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 2286 ー 法外援護災害救助事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		保健福祉政策課		
施策名 4. 市民生活の安全性の向上							
基本事業名 1. 防災基盤の整備と災害復旧対策の推進			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①災害危険箇所の整備や治水対策、危険箇所に立地する住宅の移転促進等の事業を実施し、災害の未然防止に努めます。 ②災害発生後は、被害拡大や二次災害の防止・早期復旧に努めます。 ③地区防災計画の作成支援や防災訓練等を通じ、防災知識の普及・啓発を行うとともに、消防団員の確保のため、若者や女性の加入促進を図ります。			算	款	03	民生費
				科	項	04	災害救助費
				目	目	01	災害救助費
				事業期間			昭和31年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市法外援護災害救助条例
	①災害危険箇所 ②災害発生箇所 ③市民(特に若者や女性)		①災害が未然に防止される ②災害が拡大しない ③早期に復旧する ④防災知識を身に付けてもらう ⑤消防団に入ってもらふ		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>								
市内に住居を有する市民が、災害救助法の適用基準に達しない火災その他の天災地変等により、人命及び住家に損害を受けたときに救助費を支給する。 ・死亡者があった場合・・・1人につき100,000円 ・住家が全焼、全壊等の場合・・・1世帯につき50,000円 ・罹災による著しき負傷者・・・1人につき30,000円 ・住家の半焼半壊・・・1世帯につき30,000円 ・住家の一部類焼・・・1世帯につき10,000円								
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	災害救助法の適用基準に達しない被災者及びその遺族	見舞金支給対象件数		件	14	10	1	10
イ					0	0	0	0
ウ					0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	被災者の生活再建及び慰労の一助となる	見舞金支給件数		件	14	10	1	10
イ					0	0	0	0
ウ					0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果	
事業費(千円)		420	50	840	【実績】 住家全焼1件(国分地区) 支給実績: 50,000円 【成果】 被災直後の当面の生活と今後の生活再建の一助となることができた。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
一般財源		420	50	840		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	